健康経営関連指標の実績と目標

当社では、健康経営に関わる指標数値の経年変化を観察し、効果検証や施策の見直しに役立てています。健康経営のKGIは、ワークエンゲージメント、プレゼンティーズム、アブセンティーズムであり、その改善のために戦略マップに基づく各種指標の改善を図っています。

健康経営を本格始動する前の2019年度から直近の2024年度までの5年間の変化をみると、健康投資施策の取組み状況に関する指標はすべて改善、また従業員の意識変容・行動変容に関する指標もほぼすべて改善し、健康づくりが当たり前に行われるようになってきました。その結果、健康管理不良者率や心身不調者率、高ストレス者率などは改善傾向にあります。
しかし一方で、肥満やプレゼンティーズムに関する課題が大きくなってきており、健診・問診やストレスチェックだけでは測れない社員個人の生活習慣や不調などへの対策が求められていると感じています。引き続き、コミュニケーション活性化を軸とした健康増進施策と、個人に寄り添う健康管理施策とを組み合わせながら、KGI改善を導いていきます。

ワークエンゲージメント：2026年度目標80（高エンゲージメント企業の水準を参考にしつつ、当社の施策で十分達成可能な水準として設定）
プレゼンティーズム：2026年度目標10.0%（日本企業の平均的なプレゼンティーズム水準（10～20%を参考に、改善可能かつ現実的な水準として設定。健康支援施策や職場環境改善の取り組みにより、生産性の維持・向上が期待できると判断）
アブセンティーズム：2026年度目標3.0日（日本企業の平均（2.6日）を参考にしつつ、当社の業務特性や過去実績を踏まえた現実的な目標値。生活習慣改善支援、二次健診受診促進、両立支援制度の充実などの取り組みにより、欠勤の予防・軽減が期待できると判断）

分類		指標		数値の理解	実績						目標		健康経営開始後の変化
					2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
＜健康投資施策の取組状況に関する指標＞	[施策1]全社的な健康増進	定期健康診断受診率		高いほどGood	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	5年前より100%維持
		ストレスチェック受検率		高いほどGood	98.0%	99.9%	100%	99.4%	98.8%	100%	100%	100%	5年前より改善
		女性の健康セミナー参加率		高いほどGood	ー	57.1%	50.6%	59.2%	59.2%	69.6%	75.0%	80.0%	4年前より改善
		全社イベント参加率		高いほどGood	ー	83.8%	84.1%	78.5%	90.4%	91.5%	91.6%※実績	93%	4年前より改善
		全社イベントの満足率		高いほどGood		ー	ー	ー	67.0%	80.0%	80.3%※実績	82%	1年前より改善
		全社員健康面談実施率		高いほどGood	ー	98.5%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	4年前より改善
	[施策2]重症化予防	定期健康診断後の精密検査受診率		高いほどGood	34.7%	61.1%	53.5%	65.0%	78.9%	84.9%	86.0%	88.0%	5年前より改善
		ハイリスク者の保健師面談実施率 ※1		高いほどGood	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	5年前より100%維持
	[施策3]多様な働き方	テレワーク実施率		高いほどGood	84.2%	100.0%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	5年前より改善
		ひと月あたりの平均残業時間		高いほどBad	19.0h	20.0h	21.0h	20.0h	19.7h	18.6h	18.0h	17.5h	5年前より改善
		年次有給休暇取得率		高いほどGood	72.0%	62.5%	71.0%	72.2%	70.2%	74.0%	75.0%	76.0%	5年前より改善
		育休取得率	男性	高いほどGood	54.5%	33.3%	88.9%	53.8%	85.7%	80.9%	85.0%	90.0%	5年前より改善
			女性	高いほどGood	100.0%	100.0%	100%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	5年前より100%維持
<従業員の意識変容・行動変容に関する指標>	個人の資源	ヘルスリテラシーの状況 ※2		高いほどGood	ー	ー	ー	ー	3.65	3.87	3.90	4.10	1年前より改善
		ストレス対応の状況 ※3		高いほどGood	ー	ー	ー	ー	3.43	3.49	3.55	3.6	1年前より改善
	仕事の資源	上司の支援 ※4		高いほどGood	8.28	8.68	8.75	8.81	8.92	8.81	9.00	9.20	5年前より改善
		同僚の支援 ※5		高いほどGood	8.46	8.60	8.65	8.78	8.84	8.77	9.00	9.20	5年前より改善
		個人の尊重（心理的安全性） ※6		高いほどGood	2.68	2.88	2.92	2.91	2.98	2.97	3.10	3.30	5年前より改善
		職場の一体感 ※7		高いほどGood	2.87	2.97	3.02	3.03	3.06	3.07	3.15	3.30	5年前より改善
		ワークライフバランスの状況 ※8		高いほどGood	72	76	77	77	78	80	80※実績	82	5年前より改善
		職場健康スコア		高いほどGood	63	65	67	66	68	70	71※実績	73	5年前より改善
	生活習慣	[運動習慣]日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合 ※9		高いほどGood	42.4%	25.6%	25.9%	27.0%	30.9%	33.2%	35.0%	37.0%	5年前より悪化
		[食習慣]就寝前2 時間以内に夕食をとることが週3 回未満の人の割合		高いほどGood	58.4%	81.0%	82.6%	81.6%	81.0%	80.8%	83.0%	85.0%	5年前より改善
		[睡眠習慣]睡眠で休養が十分とれている人の割合		高いほどGood	57.3%	72.0%	73.8%	73.0%	68.2%	71.9%	73.0%	75.0%	5年前より改善
		[飲酒習慣]毎日飲酒していない人の割合		高いほどGood	79.1%	77.8%	80.1%	80.3%	83.8%	90.4%	92.0%	94.0%	5年前より改善
		[喫煙習慣]タバコを吸っていない人の割合		高いほどGood	78.6%	80.8%	84.1%	84.3%	87.4%	92.5%	100.0%	100.0%	5年前より改善
	治療行動	[ハイリスク者の管理] 高血圧者のうち治療中の社員割合 ※10		高いほどGood	90.6%	72.0%	82.4%	78.2%	87.9%	77.1%	85.0%	90.0%	5年前より悪化
＜健康関連の最終的な目標指標＞	心身の健康状態	肥満率 ※11		高いほどBad	36.5%	35.3%	35.6%	37.7%	38.2%	36.9%	35.0%	32.0%	5年前より悪化
		健康管理不良者率 ※12		高いほどBad	35.7%	33.9%	34.7%	34.6%	32.5%	34.7%	32.0%	30.0%	5年前より改善
		心身不調者率 ※13		高いほどBad	24.5%	19.6%	20.1%	19.9%	19.1%	21.7%	19.0%	17.0%	5年前より改善
		高ストレス者率		高いほどBad	11.7%	8.7%	7.4%	7.8%	7.0%	10.1%	8.0%	7.0%	5年前より改善
	働く幸せ	働く幸せ ※14		高いほどGood	ー	ー	ー	74.0%	77.9%	68.7%	75.0%	80.0%	2年前より悪化
	業務パフォーマンス	ワークエンゲージメントの状況 ※15	スコア	高いほどGood	70	73	75	76	78	79	79※実績	80	5年前より改善
			回答率と測定人数	高いほどGood	89%（522名）	93.7%（583名）	95.7%（610名）	96.0%（645名）	94.5%（717名）	93.5%（786名）	100%	100%	
		プレゼンティーズム損失割合 ※16	スコア	高いほどBad	12.5%	10.5%	11.0%	12.4%	12.9%	13.3%	12.0%	10.0%	5年前より悪化
			回答率と測定人数	高いほどGood	92.8%（512名）	89.0%（534名）	90.4%（564名）	87.4%（589名）	95.8%（715名）	99.4%（769名）	100%	100%	
		アブセンティーズム損失割合 ※17	スコア	高いほどBad	5.6日/年	3.7日/年	3.8日/年	4.5日/年	4.8日/年	3.8日/年	3.5日/年	3.0日/年	5年前より改善
			回答率と測定人数	高いほどGood	92,8%（512名）	89.0%（534名）	90.4%（564名）	87.4%（589名）	95.8%（715名）	99.4%（769名）	100%	100%	
	休職・離職	正社員の傷病による休職者率		高いほどBad	1.1%	0.7%	1.3%	1.0%	0.8%	1.3%	0.0%	0.0%	5年前より悪化
		正社員の平均勤続年数		高いほどGood	7.2年	7.5年	7.9年	7.7年	7.7年	8.0年	8.3年	8.5年	5年前より改善
＜労働安全衛生に関する指標＞	労働災害	労働災害、死亡災害件数		高いほどBad	1件	0件	0件	0件	1件	2件	0件	0件	5年前より悪化

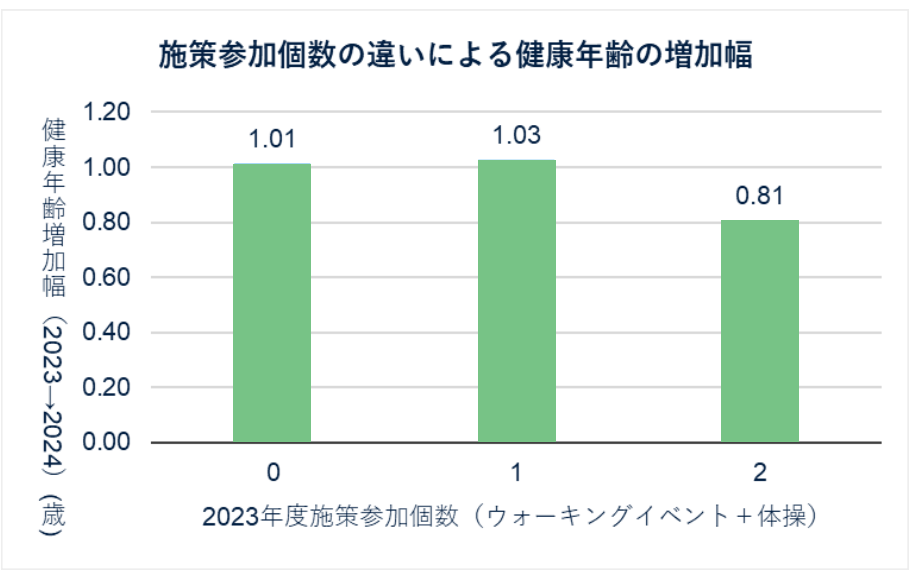
※1　ハイリスク者とは、健康診断結果において厚生労働省が定める受診勧奨判定値の対象になる人を指す。
※2　健康アンケートの「病気や健康に関連した情報の収集・選択・伝達・判断・行動力5項目において、自分自身で探したり、利用したりすることができるか」の設問に、強くそう思う5点、まぁそう思う4点、どちらでもない3点、あまりそう思わない2点、まったくそう思わない1点で点数付けし、5項目の点数平均を算出。
※3　健康アンケートの「仕事や私生活等における精神的なストレスとうまく付き合うことができているか」の設問に、強くそう思う5点、まぁそう思う4点、どちらでもない3点、あまりそう思わない2点、まったくそう思わない1点で点数付けし、5項目の点数平均を算出。
※4　新職業性ストレス簡易調査票（80項目版）の「次の人たちとはどのくらい気軽に話せますか」「あなたが困ったとき次の人達はどのくらい頼りになりますか」「あなたの個人的な問題を相談したら次の人達はどのくらい聞いてくれますか」の上司に関する3設問の合計平均を算出（そうだ＝4点、まあそうだ＝3点、ややちがう＝2点、ちがう＝1点）。
※5　新職業性ストレス簡易調査票（80項目版）の「次の人たちとはどのくらい気軽に話せますか」「あなたが困ったとき次の人達はどのくらい頼りになりますか」「あなたの個人的な問題を相談したら次の人達はどのくらい聞いてくれますか」の同僚に関する3設問の合計平均を算出（そうだ＝4点、まあそうだ＝3点、ややちがう＝2点、ちがう＝1点）。
※6　新職業性ストレス簡易調査票（80項目版）の「一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ」の設問に対する回答を点数化して回答者平均を算出（そうだ＝4点、まあそうだ＝3点、ややちがう＝2点、ちがう＝1点）。
※7　新職業性ストレス簡易調査票（80項目版）の「私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている」の設問に対する回答を点数化して回答者平均を算出（そうだ＝4点、まあそうだ＝3点、ややちがう＝2点、ちがう＝1点）。
※8　株式会社アトラエのwevoxにてワークライフバランスに関する設問への回答を問い平均値を算出。（0点～100点）
※9　2020年度より100%リモートワークが開始されたことに伴い通勤等がなくなり身体活動量が低下したが、2020年度から2024年度にかけて毎年度向上している。（2020年度：25.6%、2021年度：25.9%、2022年度：27.0%、2023年度：30.9%、2024年度：33.2%）
※10 高血圧者のうち治療中の社員割合とは、健康診断の問診において「血圧を下げる薬を服用している」を選択した社員数を①、血圧を下げる薬を服用していなくて収縮期血圧 160 mmHg以上または拡張期血圧 100 mmHg以上にあてはまる社員数を②としたときに、①÷（①＋②）で求められる割合を指す。
※11 肥満とは、健康診断結果においてBMI25.0以上もしくは腹囲が男性85㎝以上・女性90㎝以上である人を指す。
※12 健康管理不良者とは、健康診断結果の血圧、脂質、血糖、肝機能、貧血において会社基準の「very high」「high」「middle」リスクに該当する人を指す。
※13 心身不調者とは、ストレスチェック結果においてストレス反応の合計値が63点以上である人を指す。
※14 「私は、はたらくことを通じて、幸せを感じている」の設問に対して「とてもそう思う」「そう思う」「どちらかというとそう思う」と回答した割合を算出。
※15 株式会社アトラエのwevoxにてワークエンゲージメントに関する設問への回答を問い平均値を算出。（0点～100点）
※16 ストレスチェックの追加設問にてWHO-HPQにおける相対的プレゼンティーズムを測定し平均値を算出。（0%~100%）
※17 ストレスチェックの追加設問にて病気や体調不良によって勤務日を休んだ日数を測定し平均値を算出。

取り組みに対する効果検証結果

健康施策への参加に伴う効果
当社では、健康診断結果から算出される「健康年齢」が「実年齢ー2歳」となることを目指しています。
2023年度に実施したウォーキングイベントおよび体操への参加状況を基に分析をした結果、施策への参加は健康年齢の増加幅に影響があることが分かりました。

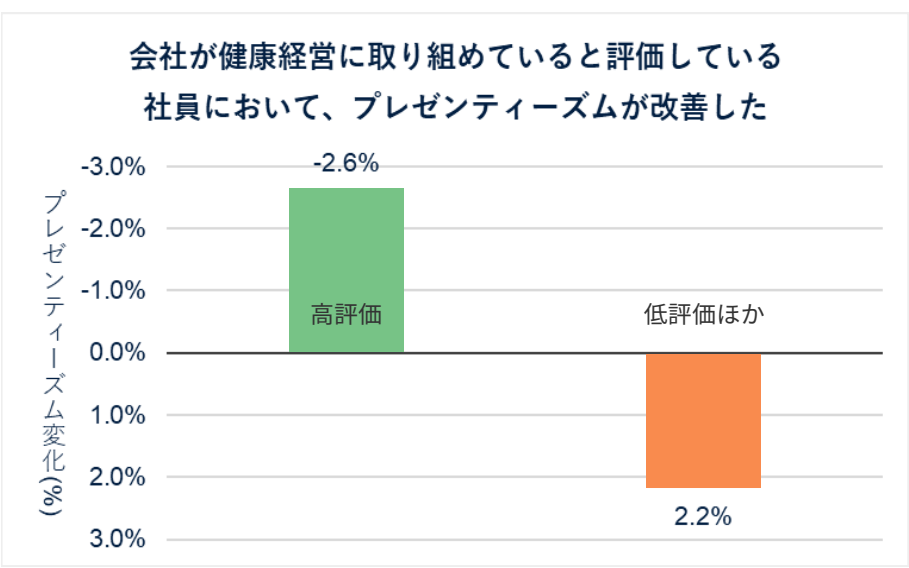
・全く施策に参加していない社員群、いずれか1つの施策のみに参加した社員群：2023年度から2024年度にかけての健康年齢の増加幅が約1.0歳
・2つの施策に参加した社員群：健康年齢の増加幅が約0.8歳（実年齢は1歳上がるが、健康年齢は0.8歳しか上がらない）

引き続き施策参加と日々の健康行動を促し、「健康年齢＝実年齢ー2歳」の実現を目指していきます。



健康経営の浸透に伴う効果
当社では、健康経営が着実に社内に浸透しているかを測定するために、「会社が健康経営に取り組めているか」の評価を経年でモニタリングしています。
「とてもそう思う」「そう思う」と回答した高評価の社員群は、健康経営の取り組みや職場での実践をしっかりと認識している集団であり、そのような環境に置かれている社員においては、プレゼンティーズムが改善する結果となりました。一方、それ以外の社員群においては、プレゼンティーズムが悪化する結果となりました。

引き続き健康経営の社内浸透を高め、プレゼンティーズムの改善を図っていきます。



Copyright © WingArc1st Inc. All Rights Reserved.